

2007.12.2 南高防災講座開催

“富士山を知り、富士山とともに生きる”

12月2日(日)は**地域防災の日**。県内各地で地域の実態に即した防災訓練が行われ、南高でも全体の7割を超える生徒が訓練に参加しました。訓練参加をひとつの契機に、地域社会の一員としての自覚を深めてもらえればと思います。

さて、この地域防災の日に合わせて、本校を会場に**南高防災講座**を開催しました。

これは、授業で地学科目を選択した2年生の“これまでの学習成果を地域の皆さんに伝え、地域の防災について一緒に考える機会を設けたい”という思いから実現したものです。

当日は、まず地学科目を選択している2年生の代表者が、火山噴火の模擬実験を交えながら授業の学習成果を発表しました。続いて静岡大学教育学部教授の**小山真人さん**に、富士山のハザードマップについて解説していただき、マップを使いながら火山情報が発表された際の行動に関するイメージトレーニングを行いました。最後は静岡県防災局の**藤田和久さん**に、静岡県の富士山火山防災対策の概要などを説明していただきました。



今回は、御殿場市新橋区の区長や防災部長にも参加していただき、火山の基礎知識を再確認するとともに、身近な存在である富士山を、その豊かな自然環境、私たちにもたらしてくれる恵み、活火山としての防災対策など様々な観点から見つめ直し、富士山と人間の共生などについて、参加者全員で理解を深めることができました。

地域防災を進めるためには“**災害を知り、地域を知り、人を知る**”ことが必要だといわれています。このような機会を通じて、南高や南高生が地域の皆さんにとっ

てより身近な存在となること、そして、学校と地域との結びつきが一層深まり、万が一災害が発生したときも、お互いが、被害を最小限に止めるために協力し合える存在となることを期待しています。

